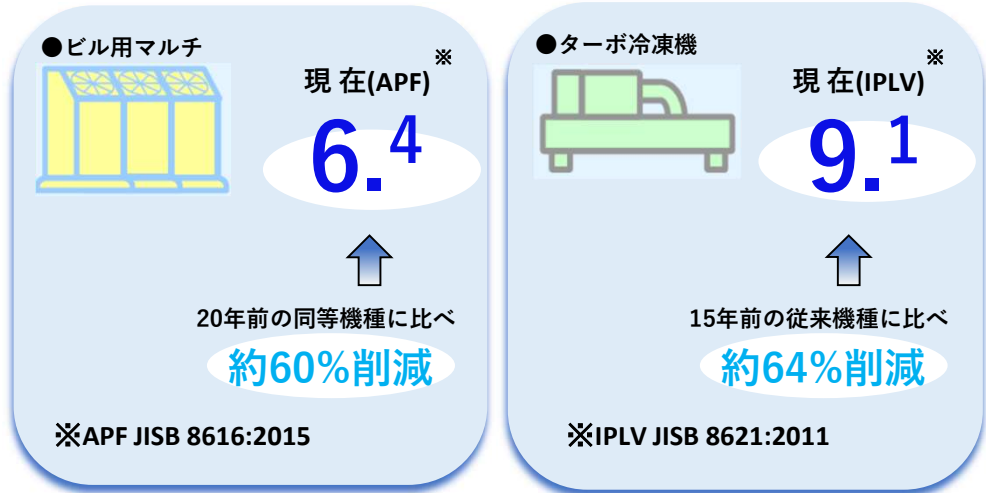


空調機は高効率なものを採用しますか？

ヒートポンプは、近年に技術改善（インバータ運転制御、熱交換器の性能向上など）が図られ、特に実際の運転時間の大半を占める低負荷領域の効率が大幅に向上しています。

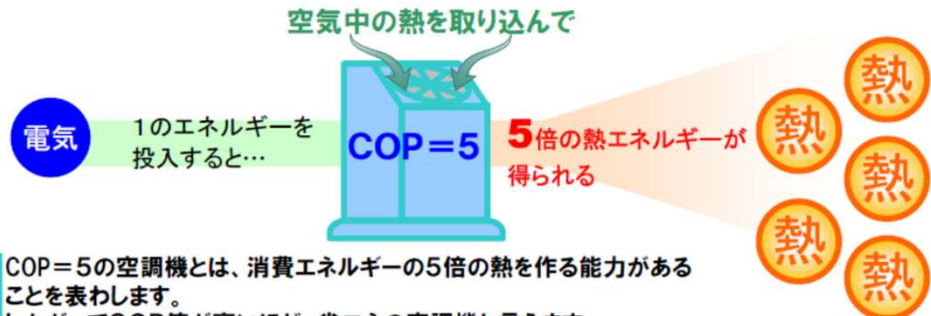
そこで、10年以上前に設置した空調機を高効率空調機へ変更することにより、省エネを図ります。

電気式空調システムの効率移り変わりの例



※効率は代表的なメーカーカタログ値から引用

COP=5のシステムの例



COP=5の空調機とは、消費エネルギーの5倍の熱を作る能力があることを表わします。したがってCOP値が高いほど、省エネの空調機と言えます。

※APF（通年エネルギー消費効率）・IPLV（期間成績係数）は、実際の使用実態に近い年間のエネルギー消費効率を示しています。

システム導入のポイント

- ・導入にあたっては、利用状況の変化などに併せて空調能力の再検討を行いましょう。
- ・国などが実施している補助金を活用することで、導入費用の負担軽減を図ることができます。